

## 「たかとり交番」設置について

県警は 176 ある交番・駐在所の配置を見直すと発表した。県が 7 月に発表した交番・駐在所の耐震調査では、9 交番・15 駐在所が耐震不足と判定された。

下土佐駐在所も該当施設となり、皆さんに報告させていただいた通り、現在下土佐駐在所には警察官が常駐せず、車木駐在所に移り 2 名の警察官で 1 区を巡回する体制をとっている現状である。当初は、駐在所の建て替えが提案され、駐在所の移転手続き等が進んでいた中、県警から新たな方針が打ち出された。

駐在所を集約し、複数人で勤務する交番を増やすことで、24 時間対応できる態勢を整え、事件への対応も強化する。当面は交番・駐在所の約 2 割の統廃合を進める。さらに今後の人口減少などを見据え、2045 年をめどに約 3 割の統廃合を見込んでいるということである。

駐在所は通常、警察官ひとりが住み込み、日中にパトロールや事件処理にあたる(8:30～17:15)地域に密着しているが、夜間や休日に対応出来ない。県内で交番は複数の警察官が 3 交代で常駐し、24 時間態勢(9:30～翌 9:30)となっている。近年は人口が都市部に集中する一方で、過疎化が進む地域では住民数に対する交番・駐在所の配置にズレが生じてきた。そこで県警は、都市部の駐在所を集約して交番を増やす。過疎地の駐在所については、住民数や道路事情を勘案して、配置を再検討していく。

交番を増やす背景には、治安情勢の変化もある。家庭内暴力の相談や通報、認知症の行方不明者の捜索など、警察が扱う事案は多様化し時間も問わない。増加する特殊詐欺への対応など人手が必要な事案にも即応が期待できる。施設の老朽化も再配置を急ぐ一因になった。

来年度には、まず明日香村に交番を設置する。駐在所はなくし 24H 体制の交番を設置し明日香村全域と明日香村に隣接する榎原市の一部地域を管轄とする予定である。高取町にあっても近々、同様の体制を組む予定である。今のところ

交番設置場所は 169 号線に近い場所で観音寺を検討中である。交番設置後は市尾・車木駐在所はなくなり 24H 体制の高取交番が町内の治安を守るようになる。

一方、地域安全推進委員会の組織につきましては、下土佐・市尾・車木駐在所の廃止に伴い、駐在所支部の名称は変わるものの地域防犯活動は必須で、現況通りに持続する方向である。